

広報

みなみおくに

発行 南小国町役場 TEL 2-1111 印刷 白木印刷(株) TEL 62-1255

町の人口

5月末現在

総人口 5,842人

男 2,814人

女 3,028人

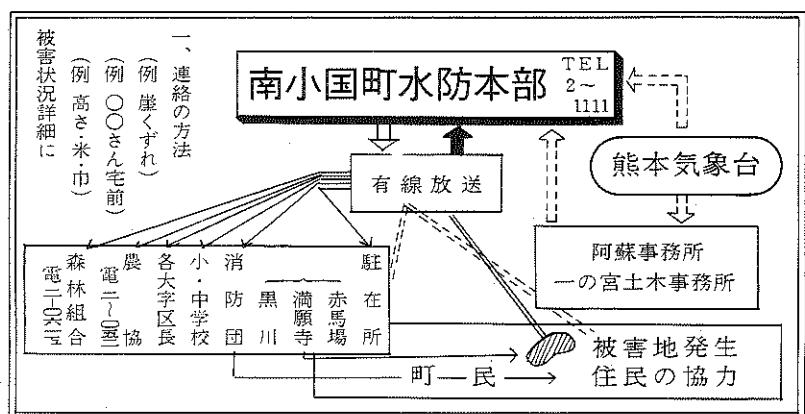
世帯数 1,357戸

No. 116

危険 水位トップ



7月号





着工
～完成

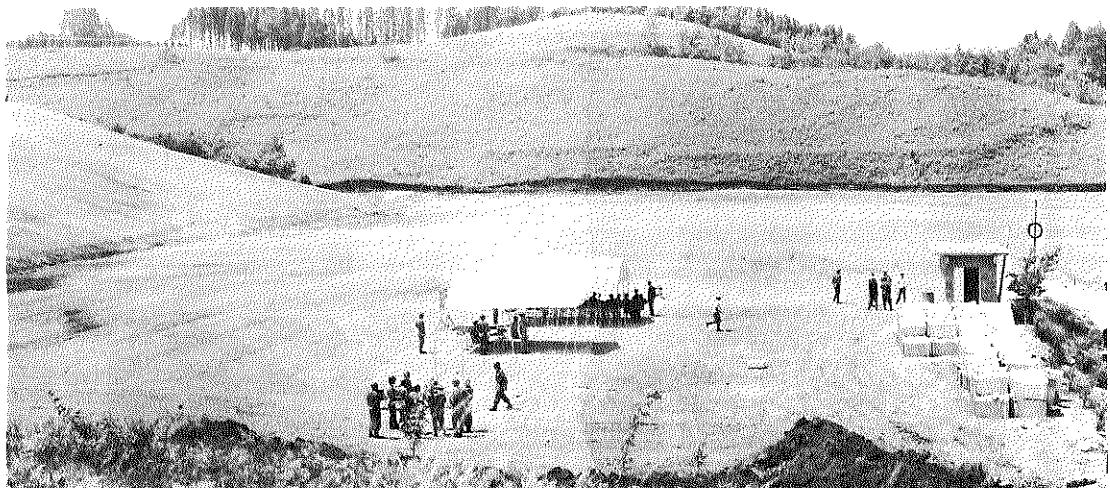


町長並び師団長による鍼入の儀式

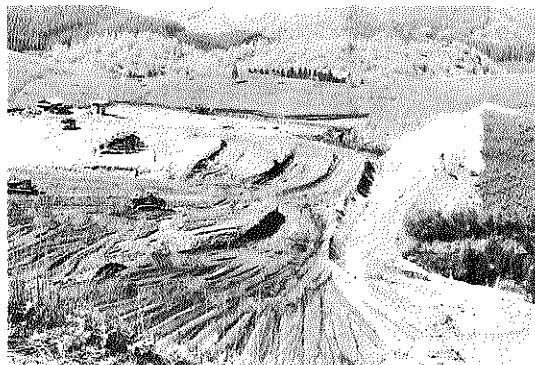
海上自衛隊施工
南小国町運動公園敷地造成工事
施工期間 昭和48年4月4日から
昭和48年6月15日まで
申請者 南小国町長
受託者 第8施設大隊第2中隊
施工部隊 第8施設大隊第2中隊

広々とした運動公園





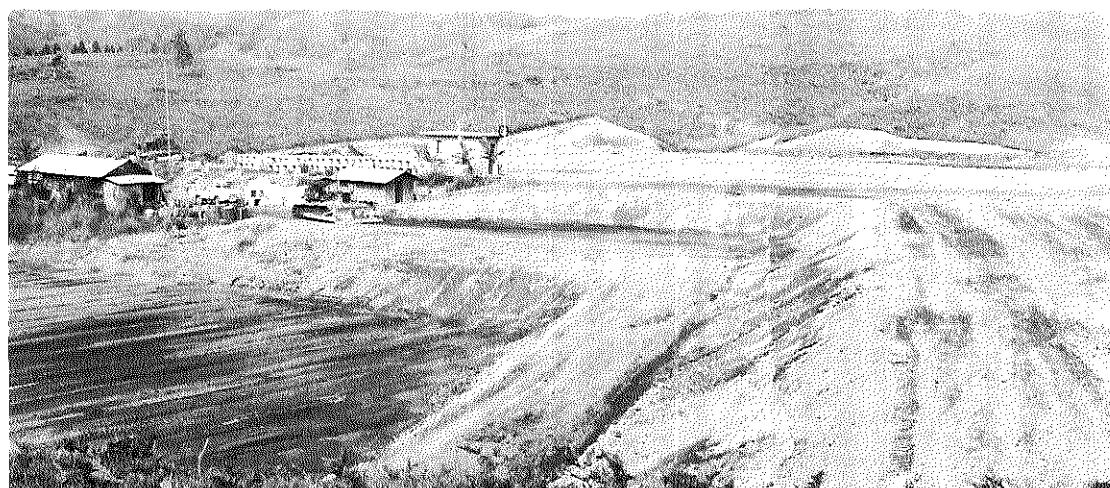
田原運動公園

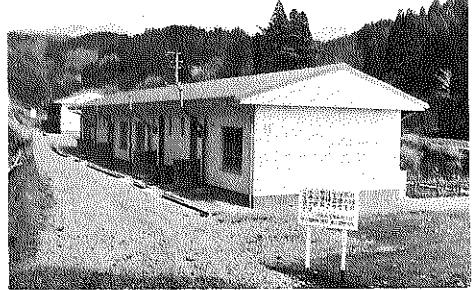


↑ 六台のブルドーザーによりけづりと
られ、整地される公園。



小高い丘は下の水田を埋め拡張 →
される。





「簡易保険積立金融資、厚生年金保険積立金還元融資施設建設される」

昭和四十七年度普通建設事業は大部分が左記の資金に於て建設されました。第一に火葬場改築從来の火葬場は昭和三十七年に木造平屋で建設されたもので今回国民年金特別融資（貳百八拾万円）で改築されました。第二に公営住宅他事業です。これは黒川に簡易耐火平二種住宅八戸、農道滴願寺田の原線延長八百四拾四メートル農道上中原線延長一千一百一メートルの完全舗装、林道原口平線（横道）延長三百八拾メートル、道路整備事業として星和八本松線の延長一百八拾九メートル舗装、主要地方道竹田小国線（田の原、黒川）の舗装事業に伴う負担金等は簡易保険の積立金（壹千七百八拾万円）融資によって建設されました。第三に厚生年金保険積立金還元融資（五百六拾万円）によつて黒川地区簡易水道（小田、田の原、白川地区）に水道を設置することが出来ました。この様に本町の主事業の財源は先々月号でお知らせしました。

たように主に地方債によつて立つています。その中で郵政資金は大きな財源になつています。
南小国町総務課

部落集会所補助金交付

条例のあらまし

部落住民の集会の場所としての「部落集会所」の建設や増改築が各地で行なわれております。

この部落集会所は、単に部落民の集会の場所というだけでなく、あるときは社会教育の場所でありあるいは住民福祉の場所でもあります。

これらのことながらは、町行政に深いつながりを持つものであり、したがつて建設（増改築）費用の一部を町が補助してはどうかとの世論があり、町議会総務委員会の審議を経て、三月定期議会において「南小国町部落集会所設置事業に対する補助金交付条例」が可決されました。

四、補助の対象とする建築費の一平方メートル当たりの単価は原則として実費とするが、その価格が三万三百円（坪当たり約十万円）を超えるときは三万三百円を限度とする。

五、土地代、整地費、電灯、水道の屋外配線工事費、内容設備費

備品費は補助対象としない。

六、新設及び増改築に対する補助金の交付は、一集会所にいづれか一回限りとする。

七、補助金の交付を受けようとする部落の代表者は補助金交付申請書を町長に提出しなければならない（添付書類として事業計画書、収支予算書、平面図、請負契約書の写、工事内訳書が必要）。

八、町長は申請書を審査のうえ適当と認めるときは補助金交付決定通知をし補助金を交付する。

九、町長は補助金の交付を受けた者が虚偽の申請をし、又は施行の方法が不適当であるときその他不正行為が発見された場合等には補助金の全部又は一部を返還させるものとする。

十、補助率は補助対象事業費の三割とする。

十一、昭和四十四年度の工事から補助金の交付を行なう。

以上が条例のあらましですが実際ににはむづかしい問題も含まれています。申請書の用紙等は役場に用意しております。申請書の受付は七月一日より受けますので該当部落の代表者の方は申請書を提出して下さい。なお詳しいことにについては総務課におたずね下さい。

身体障害者の自動車税

自動車取得税が安くなります

身体障害者の自動車税、自動車取得税の減免については、従来下肢不自由者と体幹不自由者のみが対象でしたが、昭和四十五年度より一定の障害程度以上の全障害者が減免を受けることができるよう

○ 対象となる障害等級表

障害名	区分	身体障害者福祉法	恩給法	
		別表第5号	別表第1号表の2	同第1号表の3
視覚障害	本人が運転する場合	1級2・3・4の1	特項1・2・3・4	
	家族等がタ	1級2・3・4の1	〃1・2・3・4	
聴覚障害	本人	2・3	〃1・2・3・4	
	家族等	2・3	〃1・2・3・4	
平衡機能障害	本人	3	〃1・2・3・4	
	家族等	3	〃1・2・3・4	
上肢不自由	本人	1・2の $\frac{1}{2}$	〃1・2・3	
	家族等	1・2の $\frac{1}{3}$	〃1・2・3	
下肢不自由	本人	1・2・3・4・5・6	〃1・2・3・4・5・6	1款・2・3
	家族等	1・2・3の1	〃1・2・3	
体幹不自由	本人	1・2・3・5	〃1・2・3・4・5・6	1款・2・3
	家族等	1・2・3	〃1・2・3・4	
心臓機能障害	本人	1・3	〃1・2・3	
	家族等	1・3	〃1・2・3	
じん臓機能障害	本人	1・3	〃1・2・3	
	家族等	1・3	〃1・2・3	
呼吸器機能障害	本人	1・3	〃1・2・3	
	家族等	1・3	〃1・2・3	

になります

次に記します条件にご注意のう

え該当される方は、減免申請手續
きをされてください。

一 洞兔の対象となる人

身体障害者手帳か戦傷病者手帳を持つている人で次の表にあては

(1) 戰傷病者手帳が、旧項、旧款で障害の程度が記載されている場合は次の表により新款として、判定されます。

(2)	新 款
旧項	1 款症
7 項症	2 款症
本人運転と家族運転との区 別	3 款症

ア、本人運転
身体障害者自ら運転する
場合

身体障害者が所有している自動車で、その人の通学、通院、生業のためにその人と同居していて、生活を共にしている人が運転する場合

(1) 三、減免される税金

ア、事業用とは、タクシー等の青ナンバーの自動車で、自動車運送事業用に使われている自動車をいいま
す

自動車、軽自動車を通じて何れか一台に限られま

○四月一日より九月末日ま
三十日

○四月一日以前より自動車
を持つてゐるときは五月

20

(2) 自動車税は
 分室」で自動車取得税の申告
 をした日から三十日以内

(1) 減免の期限は次の通りです
 「県税陸運

四、減免の申請が遅れたら減免されません

自動車を取得した自動車については翌期分の税額

ウ、すでに減免された自動車を譲渡移転して、新たに

〇三月中に取得した場合は
翌年度の全額

（九月一日から二月末まで）
に取得した場合は証紙徵

日までに取得した場合は
証紙徵收額と二期分

については

手帳の金額

(2) 自動車税については次の通りです

でに自動車を移転登録に意下さい。

より取得したときは十一月三十日

〇年中途で自動車を新規

取得したときは、登録の日から三十日

〇障害手帳の交付を受けたときは翌年の納期より三十日

（既減免車を抹消又は移転したとき）

（1）申請書を提出するとき持参するもの

身体障害者手帳
戦傷病者手帳

車検証又は軽自動車の届出済証、運転免許証、印鑑、領収証又は納税済証

名は自動車検査証に記載されたものをいう。

たるものと申す。

（2）整理番号、課税額（納付額）は納税通知書、又は納税済証によつて記載すること

（3）身体障害者の障害名は手帳記載の事項すべてを記載すること

（4）身体障害者手帳、戦傷病者手帳ともに交付を受けていたときは、いずれも記載すること

（5）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（6）「家族等が運転する場合は次

（7）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（8）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（9）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（10）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（11）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（12）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（13）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（14）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（15）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（16）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（17）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（18）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（19）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（20）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（21）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（22）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

（23）「家族等の状況について」の欄は同居していて、生計を共にしている者を記載すること

の変化に次から次へと枯れてしまい私が一番の年寄になってしまいました。遠い昔の話ですがヒビ

爺さんの頃だった。時の将軍源頼朝から阿蘇家に守の法方を習いに来て眼下に広がる雄大な原野で練習した相で富士の巻狩と関東の人

は威張るが本家はここない。三愛朗々と詩を吟じて去った人は頬山古文書が有りますので一ベン位は見て置きなさい。爺さんの頃に竹田久住方面から一人の土人が声高々

朗々と詩を吟じて去った人は頬山古文書が有りますので一ベン位は見て置きなさい。爺さんの頃に竹田久住方面から一人の土人が声高々

歩いたと聞いています。いつのまにか私も老人となり、ところがこの十年は大変な麥り様で横断道路が出来ると日夜を分かたず車は走り排気ガスを撒き散しますので呼吸困難となり喘息氣味です。それより大事は私達松族の大敵である

松喰虫の襲来で仲間が一本一本枯死して行き今は全部の松が被害を受け今大手術をしなければ全滅してしまうます。退治して呉れればまた／＼長息は出来ますたい四年五年前に新しく子供を植樹して呉れたけど野焼で火焙の刑に処せられ焼殺されてしましました。世の中はメチヤクチヤです。どうか今すぐに松喰虫の退治と丁寧な輪知焼をして野焼をする様に、又生活環境の美化、人間達は自分達ばかり生活改善とかいつて自分達のことをばかりを考えていました、たまには私達の事も考えて下さい。せめてゴミ箱位は置き美化に協力して下さい。町長さん、議員さん、町民の皆さん雄大な瀬の本高原も私達が全滅すれば景色もだいなしです。その時になつて私達の存在価値を認めてももう遅すぎますたい」と云つて長い／＼話は終りました。

私も考えて見ると松族達の云い分も一理有る様です。どうか松族の願いに耳を傾けて下さい。

「昭和48年度における医学的相談日についてお知らせいたします」

四、強力補聴器の要否判定は毎月第三水曜日に行い、第一水曜日には行いませんからご了承ください。

身体障害者更生相談所長から次のとおり医学的相談日についての連絡がありましたので、該当される方は、この日に相談されるようお知らせいたします。

一、相談診査日又は担当医師

(別表)

- 二、診査時間
午後一時から受付、午後二時から診査します。
- 三、相談診査場所
熊本県身体障害者更生相談所
電話 熊本666-261-103

南小国町 長寿十三傑									
一位	齊藤 常滿さん	二位	武田 繁さん	三位	杉末喜さん	四位	武田 明治十五年生	五位	村上ミツエさん
明治十七年生	明治十六年生	明治十八年生	明治十九年生	明治二十年生	明治二十一年生	明治二十二年生	明治二十三年生	明治二十四年生	明治二十五年生
生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
六位	立岩 古賀	七位	武田 ツギさん	八位	渡辺 貢さん	九位	井野タカ子さん	十位	川津ツチさん
明治十七年生	明治十七年生	明治十八年生	明治十九年生	明治二十年生	明治十九年生	明治二十年生	明治二十一年生	明治二十二年生	明治二十三年生
生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
七位	樋の口	八位	樋の口	九位	落見	十位	田の原	十一位	北里
生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
十三位	志津 杉田下	十二位	田北 明治盛義さん	十一位	山村 森彦さん	十位	田中 盛義さん	九位	杉田
生	生	生	生	生	生	生	生	生	生

障害別	相談診査日	担当医師	備考
視力障害	月1回 オ3木曜日	熊大眼科 沢田 悅	
聴力障害	月2回 オ1・3水曜日	熊大耳鼻咽喉科 福永 武之	オ3水曜日は強力聽器の要否判定を併せ行う
肢体不自由	月4回 毎週火曜日	熊大整形外科 米満 弘之	オ5火曜日を除く
呼吸器障害	奇数月の オ3月曜日	熊大内科 志摩 清	

駐在所だより

交通規制(最高速度(四〇キロ)駐車禁止)のお知らせについて

昨年の秋、商工会総会が市原中央公民館で開かれた時、出席された町長さん他一般会員さん方に一

応御説明(了承)しておきました。市原の農協前から竹ノ熊橋まで

の約一キロメートルを駐車禁止と

速度制限四十キロの交通規制をいよいよ近日中に、次のとおり実施することになりましたので町内広報誌をお貸りして皆さんにお知らせ致します。御協力お願い致します。

一、路線名

県道産山→小国線

二、区間
阿蘇郡南小国町大字赤馬場、竹

協前から同町大字赤馬場、竹

三、距離
一キロ(千)メートル

四、時間
常時(二十四時間)

五、その他

(1)場所については地図□部分の道路となっております。

(2)標識は皆さまも充分御承知だと思いますが一応記してみます。

ノ熊橋までの間

